

## 12月13日（水）竜王西小学校を訪問しました！

### 対談テーマ

### コミュニティ・スクールの在り方について

竜王西小学校における「地域（ふるさと）を語れる子、地域（ふるさと）を誇れる子に」を合言葉とした地域とともに取り組む学びの成果を見聞し、今後の地域と共にある学校、社会に開かれた教育課程のあり方について対談しました。併せて、学校図書館の状況を見聞し、学校図書館や司書の役割を確認しました。

### 訪問した教育委員

土井 真一 委員 野村 早苗 委員 塚本 晃弘 委員

### 竜王西小学校について

竜王西小学校は創立35年目。緑あふれる豊かな自然と古い歴史、文化遺産に恵まれた地域にあります。校歌の歌詞の「鏡山」「善光寺川」「あえんぼの花」を地域の3つの宝とし、教材化することで地域に根差した学習を展開されています。

### 意見交換より

委員：地域学校協働本部はいつから公民館に設置されたのですか。また勤務時間はどうなっていますか。

地域：今から14年前の平成22年に立ち上げました。統括マネージャーは1日7h×20日の勤務。4名のコーディネーターは月10hでボランティアとして関与しています。

委員：体力テストの補助や星空観察など地域から協力できる人をどのように募集しているのですか。

地域：学校からの通信もありますが、一番は口コミです。

委員：PTAの組織としての関わり方はどうですか。

地域：PTA役員のみ手がないです。コロナ禍で活動が制限され、楽しめてなかったことが背景。活動があると楽しく、つながっていきます。

事務局：学校司書の配置状況はどうなっていますか。

地域：毎日4時間出勤いただいています。

事務局：持続可能な仕組みとして統括マネージャーやコーディネーターの取組を引き継ぐ方はいますか。

地域：教員のOBの方に期待しています。学校の内側を理解している人がよいです。

事務局：学校図書館に居場所としての役割が期待されていますが、子どもたちはどのように利用されていますか。

学校：本を読む場所というだけでなく、静かに落ち着いて過ごしたい子の居場所にもなっています。

